

先進地「伊賀市柘植地域まちづくり協議会」視察研修について 地域検討部会

神山・江田自治振興会として、今後取り組むべき事業および自治振興会そのものの考え方を参考にするため、先進地である伊賀市柘植地域まちづくり協議会に研修をお願いし、1月28日に視察研修をさせていただきました。



◆神山・江田自治振興会が抱える課題

- 10年20年後を見据え、今後迎える超高齢化社会の諸問題
- 防災・防犯・空き家対策 等

◆柘植まちづくり協議会の取り組み（要点のみ）・事業

- 沿革：12地区 3,500人弱
- 会長：地区区長の中から地域まちづくり協議会会長を選出。会長を受けていただく方がないため、本来会長は持ち回りだが継続しての会長。

•事業

*交流活動

閉園の保育園を市から借り受け、老人ケアセンターへの食事の提供(有料)およびサロン活動を市民の有志で営業。

*防災活動

災害が大規模であるほど、行政の支援活動は遅れを伴う可能性が高いとの見地から「自助」「共助」の心得が重要。細部にわたる防災マニュアルを作成し、防災訓練を通じて、その都度見直していく。「共助」の必要性と市民意識の向上を強調。

*その他

若い人材を交え、地域の活性化のために様々な事業を展開。

川口私見：柘植地域まちづくり協議会は事業展開等、有効に機能していました。キーマンである事務局長さんは、元は教員をされており、市との連携および各区民のそれぞれの年齢層との(会長・副会長と共に)つなぎ役も担われていました。神山・江田自治振興会にも、キーマンが必要であると感じました。



昼食は、まちづくり協議会が指定管理を受けておられる旧保育園の施設で食事提供されているものをいただきました。

当初はサロンとして地域の方々のコミュニケーションを図る場として始められ、数年前からは、併設されているデイサービスセンターへの食事提供の受託を請け、事業として地域の皆さんで協力・運営されています。

